

「第7回経営諮問委員会」の概要

「第7回経営諮問委員会」の概要につきましては、以下の通りであります。

第7回目の委員会は、平成24年8月10日に公表いたしました経営強化計画の履行状況報告書（平成24年6月）について、各委員の皆様から貴重なご意見・ご提言を頂戴いたしました。

1. 日時

平成24年7月30日(月) 15:00～17:07

2. 場所

当行本店

3. 出席者

【経営諮問委員会委員】

児嶋 眞平 京都大学名誉教授、福井大学名誉教授、前福井大学学長
増田 仁視 前福井経済同友会代表幹事、増田公認会計士事務所所長
山本 雅俊 元福井県副知事、元公益財団法人ふくい産業支援センター理事長

(五十音順、敬称略)

【福邦銀行】

三田村 俊文 取締役会長
東 條 敬 取締役頭取
清水 一宏 取締役
武内 仁和 取締役
酒井 英一 取締役
三田村 謙 監査役
前田 頼秀 監査役

4. 当行挨拶要旨

<東條頭取>

- ・ 本日、第7回目の経営諮問委員会を開催いたします。今回は、平成24年3月までの経営強化計画の履行状況報告について、ご説明・ご報告を申し上げます。
- ・ また、6月28日より、経営効率化、意思決定の迅速化を図るため、常勤取締役を8名体制から5名体制に減員し、新たに酒井取締役を加えた新体制で臨みますので、よろしくお願いいたします。
- ・ 6月に発覚した行員の不祥事について、当行は深く反省するとともに、再発防止に向けて全役職員一丸となって信頼回復に努めてまいります。
- ・ 金融機関の本業である貸出利息収入が細っている中、どうやってこの厳しい経営環境を乗り切ることが課題でありますので、委員の皆様には、引き続き広い視野でご指導、ご鞭撻を賜りたいと思います。

5. 当行からの説明要旨

- ・ 経営強化計画の履行状況報告(平成24年3月)

6. 委員の意見等

委員から次の内容のご質問、意見および提言をいただきました。

<ご意見>

1. 今回の不祥事件の発生は残念である。全職員のコンプライアンスマインドを高めるために、部店単位での勉強会を開催した後、職員がどう感じたのか全職員を対象にアンケート(記名式)をとることが重要である。また、コンプライアンス委員会で決定したことを伝達する際、職員同士の対話集会を設けるなど、各部店の自主性を引き出すような工夫を考えて欲しい。
2. 平成24年6月に「中小企業経営力強化支援法」が施行されるなど、国内企業は海外に脱出する時代になっている。外国に投資する企業が増え、親子ローンのニーズも高まっており、海外進出支援には、引き続き積極的に取り組んで欲しい。
3. 平成25年3月で「中小企業金融円滑化法」が終了するが、中小企業の再生支援に対して、組織を挙げて高いレベルでの取り組みを行うことが重要である。
4. 重要な課題は、この厳しい環境の中でどうやって融資を増やしていくかである。内部体制面でも様々な努力をしているが、中から外を見ている感じがする。もう少し外から中を見る必要があると思う。V2Hシステムや限界集落への支援など何か先駆的な営業展開も一つの方策である。

以上